

エネルギー戦略会議（仮称）について

目的

エネルギー需給構造の大転換

	これまで	これから
安全	原発依存	脱原発依存
安定	地域独占	供給主体多様化
安価	競争のない認可価格	適正競争による価格

- 「地震国・日本」で原発リスクが顕在化。日本の電力供給体制の脆弱さが露呈
- 「持続可能な成長」「強い大阪」を支えるエネルギー政策の追求は、府市共通の課題
- 大阪の地域特性
 - ・ 人口密集、エネルギー大消費地
 - ・ 低い電力自給率
 - ・ 中小企業の割合が高い産業構造
 - ・ 新エネルギー産業の集積
 - ・ 近畿の水がめ琵琶湖の下流に位置

府市エネルギー戦略の策定

関西広域連合へ拡大

大阪・関西における安全・安定・安価な電力の供給体制を住民・ユーザー視点から見直すと同時に、国に先駆けて公正で開かれた競争的な電力市場を誘導することで新たなエネルギー社会形成による新成長を実現